



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和8年(2026年)8月27日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

二小の夏休み

校長 内田 辰彦

今年の夏休みは40日間の長い期間でした。夏休みの前半には、個人面談や二松クラブ、5年生の野外体験教室を行いました。二小の特色ある教育活動である二松クラブは、今年も二小育成会との共催、二小CSの協力で実施することができました。7月22日～24日の3日間で行いました。申し込みをして参加を予定した児童は441名、31の講座を開設しました。この31の講座は地域の方・保護者の方・これまでに二小と深くかかわってくださった方が全てボランティアで講座を開設してくださいました。4コマ漫画、カップス、カムカムキッチンカード、手作りうちわ、防災キッズ講座、手作り宇宙人・撮影会、紙パックで小物入れ、思い出の木の工作、くにたちカルタ、写真で物語、DNAゲノム分析、マイ葉っぱ図鑑、Tシャツリメイク、和紙で箱をデコる、二小の大地再生、ペットボトルロケット工作、手話講座、ドラム体験、ボートゲーム、動ける体を作る、バルーンアート、みんなで歌おう、心の声を聞く、パントマイム、生け花、かわいい小物、ハッピーリサイクル研究所がそれぞれの内容です。2回に分けて開催する講座を含めて31講座でした。楽しみ方や参加の仕方もそれぞれ個性的でした。子供たちの興味や関心、知的好奇心が刺激されるワクワクするような講座がたくさん開かれました。今年は二小CSにご協力いただいたことで、各講座の講師の皆様には地域学校協働活動のボランティア登録もしていただきました。この素敵な取り組みが今後も続けられるよう、仕組みを整えていきたいと思います。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。



また、7月29日～30日は5年生の野外体験教室を行いました。初日はニジマス釣りと釣った魚の調理、そして板橋区立ハケ岳荘のアウトドアキッチンでピザ作りを行いました。楽しい夜を過ごして2日目は、野辺山高原の滝沢牧場で乗馬などの牧場体験をしました。5年生は初めての宿泊学習でしたが、自分のことだけでなく周りのことみんなのことをよく考えて、安全に楽しく2日間を過ごすことができました。野外体験教室の各活動を通して5年生がどんどんと成長していく姿を実感できたことが、何より印象に残りました。

さて、40日間の長い夏休みも終わりのよい2学期の始まりです。1学期の終業式で、夏休みの期間を通して継続して取り組めることを、自分で決めて取り組めるといいですね、という話をしました。いかがでしょうか。継続できた子はきっと大きな成長とやり遂げたという達成感を得られたと思います。その力をぜひ2学期に発揮できるといいなと考えます。

9月は八小プールをお借りした水泳の授業、10月は運動会、11月は音楽会と大きな行事が続きます。10月の運動会はこの校庭で行う最後の運動会となり、11月の音楽会は二小で初めての音楽会であり、体育館で行う最後の大きな行事となります。日々の学習でも、自分で選択したり内容を決めたりしながら自分で考えて進めていく学習を、学年の実態に合わせながら各学年ですすめていきます。充実した2学期になることを期待します。



学校評価について これまで、12月にアンケートを実施して保護者の方からのご意見を学校運営に生かしてまいりました。二小はコミュニティ・スクール2年目を迎え、さらに保護者の方からご意見を生かしながら地域と共に歩む学校づくりを目指し、今年度から9月と12月の2回、学校評価を実施することとします。また、それに伴って各行事等のアンケートは無くします。2回の学校評価へののご協力をよろしくお願いします。